

木津川市教育委員会会議録

令和4年第7回木津川市教育委員会定例会

○日 時：令和4年7月25日（月） 午後2時から午後2時47分まで

○場 所：木津川市役所5階 全員協議会室

○出席者：森永重治教育長、有賀やよい委員、小松信夫委員、高橋史代委員、佐脇貞憲委員
（事務局）竹本教育部長、大村理事、吉村理事、吉岡教育部次長兼こども宝課長、平井学校教育課長

1. 開 会 教育長
教育長あいさつ

2. 前回会議録の承認

2ページ下から3行目委員の発言中、「間食」は「完食」の誤りであるとの指摘があった。
教育長が事務局に修正を指示し異議なく承認された。

3. 議 事

《議案第22号 木津川市立幼稚園規則等の一部改正について》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

[説明]

木津川市立幼稚園条例の一部改正の議案が、令和4年第2回木津川市議会定例会で可決されたことを受け、令和6年度末で高の原幼稚園を閉園するにあたり、令和5年度から段階的な新入園児募集停止等を実施するため、所要の改正を行うもの。

【質疑応答】

委 員：新旧対照表で定員を比較すると、3歳児の改正前は、木津、高の原幼稚園とも40人で、改正後は木津幼稚園60人となっている。これは高の原幼稚園が、現在定数に満たないため、減員する40人すべてを木津幼稚園で増員しないということか。

事務局：高の原幼稚園閉園にあたり、木津、相楽幼稚園を受け皿とすると議会や委員会で説明してきた。規則には定員を記載している。定員と募集人員とは違う。木津幼稚園の改正後の定員は、4歳児、5歳児のクラス編成や教室の数など総合的に勘案したものの。資料として現在の定員と実人員を添付している。高の原幼稚園の3歳児の現在の在園者人数分は増員しているので、木津、相楽幼稚園で受け入れが可能である。

委員：4歳児、5歳児も現在の実人員を基本として定員を増やしていないのか。
事務局：現在の2園の実人員を足しても定員に満たない。部屋数や配置人員などから弾力的な定員設定にしている。

委員：4歳児と5歳児の定員の標記の仕方が違うが。何か意味はあるのか。
事務局：木津幼稚園は教室数が8室。3歳児で3室使用すると、残り5教室を4歳児、5歳児で使用することになる。4歳児が70名で2クラスとすると、5歳児は105名で3クラスできる。翌年は逆転することになる。

委員：4歳児、5歳児ともに105人はないということ。
事務局：現行規則の改正前と同じ書き方である。

教育長：4歳児が105人なら5歳児は70人。逆もある。募集定員は規則上の定員と同じか。
事務局：原則規則上の定員で募集するが、教員の配置等により定員内の募集になることもある。

【採決】

教育長が議案第22号について採決を行い、全員一致で可決された。

《報告第2号 木津川市育英資金の交付状況等について》

教育長が、事務局に説明を求めた。
事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

令和4年度木津川市育英資金運営委員会での書面審議結果、寄付金についての報告及び委員の委嘱について報告する。

【質疑応答】

委員：基金残高と今年度の交付実績からあと数年で基金がなくなると見込まれる。現在は給付額を減額してできるだけ長期間給付を続けるようにという方向だが、今後どうするのか。
事務局：令和2年第2回の運営員会で支給額を3万円から1万円に引き下げたが、新型コロナウイルス流行により申請者が増加する一方、寄付は減っている。高校も無償化が進み、進学しやすくなっている。今後もできるだけ長くこの制度を維持するために給付額を1万円にしたままで、並行して寄付金の募集も広報等で呼びかけている。寄付いただいた方の気持ちに答えられるようにしていきたいと考えている。

教育長：この制度は合併前から篤志家の寄付によって成り立ってきた。行政的には高校は都道府県の、中学校までは市町村の管轄になる。高校の無償化も進み、進学環境も変化してきている。市としては、小中学生や就学前の子どもたちの施策の充実を

する必要がある。今後、制度を客観的に整理することも必要になってくる。

委員：寄付されたA氏が育英資金を知るに至った経過や、実際に寄付されることになった経過や理由がわかれば、今後の周知する際の参考になるのでは。

事務局：確認する。

4. 教育長報告（令和4年7月1日～令和4年7月25日）

教育長が、事業報告に基づき報告を行った。中でも次の点について、説明があった。

・7月8日 全国史跡整備市町村協議会近畿地区協議会総会が加茂文化センターで開催された。

相楽地方教育委員会連絡協議会研修会が環境の森センターきづがわで開催された。

・7月22日 第6回木津川市立小学校及び中学校在り方検討委員会を開催した。

5. その他

(1) 今後の行事予定

事務局が、今後の行事予定について説明を行った。

【質疑応答】

委員：夏休みイベントレッスンはどのような事業か。

事務局：小学校全学年を対象とした新規事業。ALTや英語指導者が学年に合わせた英語レッスンをする。場所は北別館。定員は各15名。申込集計中だが、定員を大幅に超える申し込みがある。

事務局：補足する。事業は低・中・高学年に分けて実施する。現在低学年だけで200名以上、中・高学年で60名の応募があり、間もなく参加者を決定する予定。

教育長：参加者の決定方法は。

事務局：抽選する。

委員：応募は学校により偏りはあるか。

事務局：ばらつきはあるが、各校から応募されている。

教育長：この事業を計画した当初は木津・山城・加茂で分けて実施する予定だったが、新型コロナウイルスの蔓延で中止になった。今年度はコロナ禍の下、モデル的に1か所での開催にした。

委員：学年ごとに時間は分けているのか。

事務局：1コマ45分で、低・中・高学年で分けている。

委員：事業の周知の方法は。

事務局：小学校を通じて保護者に周知した。

教育長：応募者が多いことを踏まえ、来年度実施方法を考える必要がある。

委員：教育支援委員会の夏季交流会が、新型コロナウイルスの影響で中止になっている。加茂地域では、保護者の懇談会も同様に中止になっているので、代わりになる機会を設けられないかと考えている。就学相談や、行政も参加しての懇談会も中止になっており、再開についても考えてもらいたい。

教育長：教育支援委員会の活動は重要であり、就学相談等個別の相談を行っている。交流会についてはコロナ感染の増加により開催できない。

委員：交流会は廃止ではなく中止しているのか。

教育長：廃止はしない。新型コロナウイルスの影響で中止している。子どもたちや保護者の交流は大切であるが、室内で実施するため感染対策が困難である。

委員：子どもソフトボール大会の会場は。

教育長：不動川公園で開催する。

委員：熱中症対策をしっかりとお願いしたい。

教育長：学校安全研修会では、棚倉小学校で木津警察署の職員による不審者対策についての研修をする。

(2) 次回教育委員会は、令和4年8月31日（水）午後2時30分に開催予定とすることを確認した。

教育長が、会議を閉会した。